

情報提供事項

団体名：社団法人いわき市医師会
担当者： 会長 長谷川徳男
連絡先：TEL:25-5691 FAX:25-5873

いわき市医師会の震災復興計画案

1) 医療スタッフ確保と ICT の医療への利活用

いわき市では双葉郡からの避難者や原発作業員等で人口が急増して医療ニーズが高まり、震災以前からの医師・看護師不足が顕在化して、市内では十分な医療を提供する事が困難な診療科もあります。特に病院勤務医の負担が増しており、今まで以上に医療スタッフの確保に取り組まねばなりません。

国からは浜通り医療圏を対象とした医療復興の補助金案が示されていますが、地域の実情に沿った安全で使い勝手が良く維持経費も抑えた医療介護福祉の連携システムを構築するために活用したいと考えています。

(案) スマートフォンを用いたいわき市地域医療情報ネットワーク基盤整備

1. 医療及び介護の現場、担当者にスマートフォンを配備し安価で現実的な医療画像情報等の連携体制を構築する。
2. 初期導入費用及び数年間の通信費、維持費補助の枠組みを作り連携体制構築の支援をする。
3. いわき市医師会 SNS&CMS をクラウド上に移転設置し、スマートフォンや PC を用いてセキュリティの保たれた中で文書ファイル等の送付や症例検討、及び大規模災害時の連絡網まで対応可能なシステムとして将来的には医療関連他職種（歯科医、薬剤師、介護や福祉）も参加できる体制の構築を目指す。

2) 災害医療の拠点としての三師会合同会館と准看学校の整備

現在の医師会館は昭和 59 年に作られましたが、地盤が弱くここ数年は毎年のように地盤沈下した基礎部分の修理を要していました。今回の震災でも大きな段差が生じ、大規模半壊となった准看学校の講堂は取り壊し卒業式や入学式、講習会等は他施設を借りて行っております。三師会と病院協議会が一緒の建物に入っていれば JMAT 活動などももっと効率良く出来たはずです。三師会合同会館と准看学校を現在地とは別の同じ場所に建設する方向で行政へのご支援をお願いしております。